

2020年10月1日 第2422回例会
10月第1例会

Rテーマ ROTARY:ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
「ロータリーは機会の扉を開く」

本年度会長テーマ
「ロータリーを心地よく」

「地域社会の経済発展月間」「米山月間」

◆ 会長時間 ◆

浜田会長



先月の18日より予約開始となりました「GoToトラベル」の東京離発着分も実質本日からということで、旅行業界にも活気が戻ってくれば何よりであります。

私どもも新型コロナウイルスの影響を受けながら、どのように運営して行けば良いのか、理事会の皆様には長時間にわたり真摯にお考えいただきました。

その結果、リスク管理を徹底し、毎週木曜日の例会は日常として開催したい、という思いから、皆様の目の前にありますアクリル板衝立の制作・寄贈という考えに至りました。日頃からお世話になっており、数度の夜間例会のキャンセル等でかなりのご迷惑をお掛けしたであろうANAクラウンプラザホテル広島様に寄贈させていただくことにより、例会場の広さや隣の人との間隔へ往々にして気が散りがちな皆様の意識を軽減し、少しでも心地よい例会場の演出に役立てていただけたらと考えました。私ども同様ANAクラウンプラザホテル広島を日頃から例会場として使用しておられる広島東南RC・広島西南RCにも共同での寄贈を呼びかけました。広島西南RCさんにはご賛同いただきました。広島西南RC・広島西RC合同で寄贈しようという運びになり、本日わざわざ佐藤会長さんにお越しいただいたような次第であります。

本日は10月ついたちです。かなり無理がありますが「アクリル板のついたて ついたち にコロナ来るな」と願って立てていただきました。

今日は旧暦の8月15日「中秋の名月」。美しい月が見られるはずですよ。

☒ ANAクラウンプラザホテル広島に対し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための「アクリル製衝立板90枚」を広島西ロータリークラブ及び広島西南ロータリークラブの2クラブ共同事業として寄贈します。大地 洋一朗 ANAクラウンプラザホテル広島 宴会セールス担当部長に目録を贈呈。



佐藤 二郎 広島西南RC会長・大地部長・浜田会長
地域・環境委員会 川村副委員長

新型コロナウイルス感染拡大の状況下におきまして、今後の例会をより安全に開催するために、その対策の一つとして、食事時の飛沫感染防止を目的とした、テーブルに設置するアクリル製の衝立を製作しました。今後ロータリアン同志が親しく集うことを主眼とした「新しい例会様式」を目指すものでございます。

アクリル製衝立はひとりにつき1枚として90枚を作り、製作に関する費用は、同じ例会場を使用する広島西南RCと共同で負担いたしました。

このアクリル製衝立は、例会場であるANAク

ラウンプラザホテル広島様へ寄贈し、ロータリークラブ例会以外でも活用いただき、ホテルの維持発展に役立てていただければと考えております。

☑ 新会員に会員証、ロータリーバッジ、四つのテスト及びロータリアンの行動規範を贈呈



長谷川 剛 君 (推薦者: 梶本 政明君、上野 彰彦君)

● 会務報告 原 幹事

※例会終了後、4階「ミモザ」において10月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 大植君

本日 (10月1日・木曜日)
 会員数 88名 出席者 72名
 欠席者 16名 ご来客 2名
 ご来賓 0名 ゲスト 0名
 計 74名
 4週間前の例会 (2020年8月27日・木曜日)
 出席率 100%



● 同好会報告

☞ 紫雀会 鈴木世話人

9月例会は9月17日(木) 午後6時より庚午クラブで開催されました。お隣のそば吉で腹ごしらえしてからのスタートとなりました。

この日の運を幹事の私、鈴木がいただき4か月ぶりの優勝となり、大変嬉しく思っております。2位はオブサーバーの高田さん、3位はレジェンド刀禰君でした。

次回例会は10月15日(木) 午後6時より立町にあります麻雀マックですので、お間違いないようお願いいたします。

● 卓話予告

日時	テーマ
10/15(木)	「終の棲家 なでしこ」 森信 秀樹 会員

● 会員記念日

🌸 10月お誕生日おめでとうございます。

(8名)

寺岡君 鈴木君 福田君
 小田君 村上(智)君 前橋君
 長谷川(行)君 井下君



■ 新会員紹介

はせがわ つよし

○ 長谷川 剛 会員

推薦者 梶本 政明 君

推薦同意者 上野 彰彦 君

生年月日 1971年6月30日

勤務先 株式会社ベルアージュ

役職名 代表取締役

学歴 広島大学大学院

このたび、歴史と伝統ある広島西ロータリークラブに入会させていただくにあたり、推薦者の梶本 政明様、推薦同意者の上野 彰彦様、そしてご承認をいただきました会員の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

私は大学卒業後、映像関連、福祉関連、そして美容関連会社などを経験したのちに独立し、株式会社ベルアージュを設立しました。「ベルアージュ」は元気に成長する、美しく歳を重ねるという意味を持ちます。自閉症やADHD(注意欠如・多動性障害)、学習障害といった、いわゆる発達障害と呼ばれる子どもたちが、将来、社会で活躍したり、自分で物事が決められるようになるための訓練を行う放課後等デイサービスと、介護福祉士実務者研修や初任者研修、介護美容やエステティックなど介護と美容の資格スクールを運営しております。

最近、工場などでの流れ作業は機械化されるなど減少する傾向にあり、チームなどでコミュニケーションをとりながら進める職業が増えました。それは、自閉症の特性がある人など、人とコミュニケーションをとることが苦手な人たちにとっては、仕事がしづらい環境です。私たちは、このような状況でも、自閉症の人たちが活躍できるようコミュニケーション方法を伝授したり、それと同時に受け入れ側企業にも自閉症の特性理解や環境づくりのお手伝いをするをを目指しています。コミュニケーションが苦手だったり、ちょっと変わっているな、という自閉症の特性を持っている人材も、人口減少の中にあって十分労働力になれると考えています。

今後、ロータリークラブの活動を通じてさらに社会貢献の機会を広げ、より多くの子どもたちや地域の人たちに喜んでいただけるよう努めて参ります。未熟で至らぬ点が多々あると存じますが、なにとぞよろしくお願いいたします。



● **スマイルボックス** SAA 三浦君

😊 **田中君（自主申告・金一封）**

新型コロナウイルス対策で例会が休会だったこともあり、ご案内が遅くなりましたが、弊社の代表取締役を退任しました。

後任には、私の長男が務めます。今後ともよろしくお願いいたします。

😊 **鈴木君（自主申告）**

日本経済新聞社主催の日経カップ企業対抗ゴルフ選手権決勝が9月26日茨城県筑波CCで行われ、プルデンシャル生命保険ゴルフチームが2年ぶり大会最多4度目となる優勝を果たしました。

チームのキャプテンをつとめています松井氏は鈴木同期入社でもあり大変嬉しく思っております。

これからも皆様に喜ばれる会社を目指すとともにこの優勝を記念して出宝させていただきます。

😊 **北村君**

9月12日の中国新聞のひとコトの欄に『社内報 人材育成に一役』と題し、北村君の記事が写真付きで掲載されていました。

経営方針や製品の紹介、健康づくりの話題を年4回、中堅社員8人がまとめた実績を東京のウィズワークス社が主催する、今年の「社内報アワード」で人材育成の狙いも含めて評価され入賞したということです。

北村君とセムコ・ホールディングス株の益々のご発展を祈念し、スマイルボックスへご招待します。

😊 **長谷川（剛）君、梶本君、上野（彰）君**

長谷川 剛君、広島西ロータリークラブご入会おめでとうございます。ロータリーでのご活

躍をお祈りし、スマイルボックスへご招待いたします。

推薦者の梶本君、推薦同意者の上野（彰）君もそれぞれご出宝をお願いいたします。

😊 **全員出宝**

コロナに打ち勝とう!!ということで全員出宝です。

■ **財団部門 強調プログラム**



「世界へ届け米山の架け橋」を放映



**米山奨学生の
カウンセラーとなって**

瀬崎 敏正君

2019～2020年度 米山奨学生の彭子祐（ほうじゆう）さんのカウンセラーをしておりました瀬崎です。本来ですと、この場では彭さんが卓話をしていたと思うのですが、コロナ禍の影響で、彭さんが早期に単位を取得され広島大学大学院を卒業し台湾に帰国されており、私が卓話をする事になりました。今回は、カウンセラーとなつての感想、良かったこと悪かった（残念な）点について話させていただきます。

1. まずロータリー米山奨学生事業について述べていただきます。

(1) ロータリー米山記念事業は、日本のロータリークラブが作り育てる国際奉仕プログラムです。事業の推進は、全国約9万人のロータリークラブの寄付によって支えられています。2019年度は、約850名の米山奨学生を支援しています。これらはロータリー1人ひとりの浄財によって成り立っています。

(2) また、奨学金による支援だけでなく、他にも世話クラブとカウンセラー制度があります。ロータリークラブのうち1クラブが世話クラブであり、カウンセラーが決まります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあた

るアドバイザー的な存在となります。

2. 次にカウンセラーの役割についてです。

(1) ロータリアンは、1対1でカウンセラーとしてケアに当たります。また所属する世話クラブ全体での交流を通して、奨学生としてふさわしい学生に導き育てることを目的としています。具体的には、①例会への招待と奨学金の支給を行います。②奨学生についてのレポートやカウンセラーの初見を年に2回提出します。③奨学生に関する書類が登録されているか確認します。④卓話の機会をつくり、近隣クラブへの紹介を行います。⑤奨学生が多くの会員やクラブ事務局スタッフとも交流ができるようにします。⑥ロータリー精神を伝え、奨学生としての責任と責務を感じてもらえるよう、奨学生との交流・個人ケアを行います。⑦指導教員との連絡・交流を通して奨学生の現況を把握します。⑧奨学期間終了後も奨学生との交流を行います。

(2) カウンセラーになるためにはオリエンテーションに参加します。

カウンセラーになる方は、その心得や必要手続きについて学習します。またその中で、奨学生や指導教員とも面会したのち、ロータリー奨学会の理事長より委嘱状が交付されます。私はこのように手続きを経て、カウンセラーとなりました。

(3) カウンセラーとなって、取り組んだことは、以下となっております。

①例会への招待。②会社へ案内し、会社の取り組んでいる事業について説明しました。③トランヴェール、スタートラム、西広島等の事業現場への案内を行いました。④会社忘年会への招待や送別会を行いました。食事とともにする中で、彭さんが今考えていること、悩みなどについて話をしました。

彭さんは学業成績において優秀な成果を修められ、2019年度の「広島大学エクセレント・スチューデント」として、広島大学学長から表彰状を授与されました。学術研究活動の成果は国際ジャーナルにて5つの論文に掲

載もされております。現在、彭さんは、台湾に帰られて、中華民国の大学の研究員としてご活躍を続けられております。

3. 所感

最初はなることかと思いましたが、「案ずるより産むがやすし」で、一人の友人として、人として接することができました。海外にそのような友人ができる良い経験となりますので、ぜひカウンセラーになっていただければと思います。初めてロータリーで積極的に活動させていただきましたが、今までは会社に言われて参加する程度であったものが、意識が変わりつつあるかもしれないと感じるところであります。



米山奨学委員会から 寄付のお願い

小田米山奨学副委員長

本日、皆様のボックスに「米山奨学会への特別寄付のお願い」とした依頼書を配布させていただいております。

米山奨学事業は、1952年東京RCの米山募金構想からスタートし、1967年(財)ロータリー米山記念奨学会が設立され、RIから認証を受けた他地区合同奉仕活動として継続しているものです。2019年度・2020年度の全国の寄付総額、2020学年度に支援している奨学生の数、累計支援学生の数と出身国や地域に関しては、配付資料に記載されている通りです。広島西ロータリークラブにおいては、2019学年度の米山奨学生 彭子祐(ほうじゆう)さんを受け入れお世話しました。広島西ロータリークラブでは、今年度の受け入れ奨学生はおられないですが、米山月間にあたり、米山奨学事業の趣旨をご理解いただき、特別寄付へのご協力をお願いする次第です。なお寄付金は、税制優遇措置が受けられるとのことで、また寄付には配付資料で紹介している表彰制度もございますので、配付資料でお知らせしている寄付額を参照していただき、本年度の寄付を決定いただければと思います。

広島西RC

検索

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 浜田 広
幹事 原 敬

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会